

§ 3-2. 電子情報工学科

1 年次別授業科目表

福岡工業大学工学部履修要項

別表 年次別授業科目表

〔工学部〕各学科共通 | 教養教育及びスキル教育科目表

■教養教育科目

(科目名の右側の数字は単位数、○印は必修科目)

年次	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人文社会分野	日本国憲法	2	日常生活と法	2			比較文学	2
	産業と法	2	コミュニケーション基礎	②			認知心理学	2
	九州学	2			日本近代思想史	2		
	大衆社会論	2	経済と社会	2	近代経済学	2		
	海外事情	2						
	日本事情Ⅰ	2	日本事情Ⅱ	2				
	自然科学分野	生命と生態系	2	物質と化学	2	地球と環境	2	自然と科学
保健体育分野	健康運動学	②			健康科学	2	スポーツ科学	2

■スキル教育科目

年次	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
外国語分野	英語初級Ⅰ	2	英語初級Ⅱ	2	英語初級Ⅲ	2	英語初級Ⅳ	2
	英語中級Ⅰ	2	英語中級Ⅱ	2	英語中級Ⅲ	2	英語中級Ⅳ	2
	英語上級Ⅰ	2	英語上級Ⅱ	2	英語上級Ⅲ	2	英語上級Ⅳ	2
	中国語Ⅰ	2	中国語Ⅱ	2			フランス語Ⅰ	2
	韓国語Ⅰ	2	韓国語Ⅱ	2			ドイツ語Ⅰ	2
	日本語Ⅰ	2	日本語Ⅱ	2				
保健体育分野							生涯スポーツ学	2
情報工学分野	コンピュータリテラシー	2						
キャリア形成分野	キャリア形成	②						
	日本語表現	2			就業実習	2	就業実習	2

[注1] 教養教育科目は人文社会分野から14単位以上、保健体育分野から2単位、合計16単位以上を取得しなければならない。なお、自然科学分野の科目は生命環境科学科では進級条件及び卒業要件の単位に含めない。

[注2] スキル教育科目は外国語分野から8単位以上(うち英語8単位を含む)、キャリア形成分野から2単位以上を取得しなければならない。

[注3] スキル教育科目のうち、情報工学分野の科目は生命環境科学科・電気工学科では必修科目、電子情報工学科・知能機械工学科では選択科目である。

[注4] 教養教育科目は年度により前期と後期の科目が入れ替って開講されることがある。

[注5] 「日本事情Ⅰ」、「日本事情Ⅱ」、「日本語Ⅰ」及び「日本語Ⅱ」は留学生のみ受講できる。

[注6] 「海外事情」の受講は、所定の海外研修への参加が必要である。

[注7] 協定校(日本語センター)からの留学生は、

①初年次前期の「日本事情Ⅰ」及び「日本語Ⅰ」を履修し、7月実施の日本語能力試験(N2以上)を受験しなければならない。

②日本語能力試験(N2以上)に合格しなければ、「日本語Ⅰ」の単位を認定しない。

③日本語能力試験(N1)に合格しなければ、「日本事情Ⅰ」の単位を認定しない。

④日本語能力試験(N1)に合格しなければ、「卒業研究」を履修することができない。

福岡工業大学工学部履修要項

別表 年次別授業科目表

〔工学部〕電子情報工学科 | 専門基礎及び専門教育科目表

■専門基礎科目

(科目名の右側の数字は単位数、○印は必修科目、◎印はコア科目)

年次	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門基礎科目	電子情報基礎数学A	2	電子情報数学	④	線形代数Ⅰ	②	線形代数Ⅱ	2
	電子情報基礎数学B	4				初等統計学	2	
					微分方程式	②	偏微分・重積分	2
	物理概論	2	物理学Ⅰ	②	物理学Ⅱ	②	現代物理学	2

[注1] 「電子情報基礎数学A」と「線形代数Ⅱ」、あるいは「電子情報基礎数学B」から習熟度別に指定された科目4単位以上を取得すること。

[注2] 「電子情報基礎数学A・B」及び「電子情報数学」は習熟度別にクラス分けして講義を行う。

■専門教育科目

年次	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
電子情報基礎科目	電子工学基礎	②	論理回路	②				
			電磁気学Ⅰ	②	電磁気学Ⅱ	2	電子計測	②
デバイス系科目					電子物性	②	電子デバイスⅠ	②
					制御基礎	②	電子デバイスⅡ	②
回路系科目			電気回路Ⅰ	②	電気回路Ⅱ	②	電気回路Ⅲ	②
					電子回路Ⅰ	②	電子回路Ⅱ	②
情報システム系科目	プログラミングⅠ	②	プログラミングⅡ	②	プログラミング演習	②		
					コンピュータ工学	②	コンピュータシステム	②
共通科目					技術者倫理	2	技術英語	2
					無線技術資格	2	プレゼンテーション	②
				情報技術資格Ⅰ	2	情報技術資格Ⅱ	2	
						組込み基礎	②	
						組込みシステム	②	
						電子工学総合	②	
						情報工学総合	②	
						卒業研究	⑥	

[注3] 1年間に履修登録できる単位数は、スキル教育科目のキャリア形成分野、教職科目、その他カリキュラム外の科目を除き最大60単位とする。ただし、教育的配慮から例外を認めることがある。

[注4] 単位数が上段、下段に分かれている箇所は上段が電子情報工学基盤コース、下段が電子情報工学創成コースである。

[注5] 電子情報工学基盤コースは、「無線技術資格」、「情報技術資格Ⅱ」、「応用アナログ回路」及び「IE技術展望」から4単位以上取得すること。

工学部教育方針
§ 3-1 電子情報工学科
§ 3-2 生命環境科学科
§ 3-3 知能機械工学科
§ 3-4 電気工学科

§ 3-3. 生命環境科学科

1 年次別授業科目表

福岡工業大学工学部履修要項

別表 年次別授業科目表

〔工学部〕各学科共通 教養教育及びスキル教育科目表

■教養教育科目

(科目名の右側の数字は単位数、○印は必修科目)

年次	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人文社会分野	日本国憲法	2	日常生活と法	2			比較文学	2
	産業と法	2	コミュニケーション基礎	②			認知心理学	2
	九州学	2			日本近代思想史	2		
	大衆社会論	2	経済と社会	2	近代経済学	2		
	海外事情	2						
	日本事情Ⅰ	2	日本事情Ⅱ	2				
	自然科学分野	生命と生態系	2	物質と化学	2	地球と環境	2	自然と科学
保健体育分野	健康運動学	②			健康科学	2	スポーツ科学	2

■スキル教育科目

年次	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
外国語分野	英語初級Ⅰ	2	英語初級Ⅱ	2	英語初級Ⅲ	2	英語初級Ⅳ	2
	英語中級Ⅰ	2	英語中級Ⅱ	2	英語中級Ⅲ	2	英語中級Ⅳ	2
	英語上級Ⅰ	2	英語上級Ⅱ	2	英語上級Ⅲ	2	英語上級Ⅳ	2
	中国語Ⅰ	2	中国語Ⅱ	2			フランス語Ⅰ	2
	韓国語Ⅰ	2	韓国語Ⅱ	2			ドイツ語Ⅰ	2
日本語Ⅰ	2	日本語Ⅱ	2					
保健体育分野							生涯スポーツ学	2
情報工学分野	コンピュータリテラシー	2						
キャリア形成分野	キャリア形成	②						
	日本語表現	2			就業実習	2	就業実習	2

[注1] 教養教育科目は人文社会分野から14単位以上、保健体育分野から2単位、合計16単位以上を取得しなければならない。なお、自然科学分野の科目は生命環境科学科では進級条件及び卒業要件の単位に含めない。

[注2] スキル教育科目は外国語分野から8単位以上(うち英語8単位を含む)、キャリア形成分野から2単位以上を取得しなければならない。

[注3] スキル教育科目のうち、情報工学分野の科目は生命環境科学科・電気工学科では必修科目、電子情報工学科・知能機械工学科では選択科目である。

[注4] 教養教育科目は年度により前期と後期の科目が入れ替って開講されることがある。

[注5] 「日本事情Ⅰ」、「日本事情Ⅱ」、「日本語Ⅰ」及び「日本語Ⅱ」は留学生のみ受講できる。

[注6] 「海外事情」の受講は、所定の海外研修への参加が必要である。

[注7] 協定校(日本語センター)からの留学生は、

①初年次前期の「日本語Ⅰ」及び「日本語Ⅱ」を履修し、7月実施の日本語能力試験(N2以上)を受験しなければならない。

②日本語能力試験(N2以上)に合格しなければ、「日本語Ⅰ」の単位を認定しない。

③日本語能力試験(N1)に合格しなければ、「日本語Ⅰ」の単位を認定しない。

④日本語能力試験(N1)に合格しなければ、「卒業研究」を履修することができない。

福岡工業大学工学部履修要項

別表 年次別授業科目表

〔工学部〕生命環境科学科 専門基礎及び専門教育科目表

■専門基礎科目

(科目名の右側の数字は単位数、○印は必修科目、◎印はコア科目)

年次	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門基礎科目	基礎数学	②	応用数学	②				
	解析Ⅰ	②	解析Ⅱ	②	統計解析	2	数値解析	2
	基礎物理学	②	物理学Ⅰ	②	物理学Ⅱ	②	生物物理学	2
	基礎化学	1					物理学実験	2
	化学Ⅰ	②	化学Ⅱ	②				
	科学実験入門	②	化学実験	②				
	基礎生物学	1	生物学	②	生物学実験	②		
					地球科学	2		
					コンピュータ言語	②		
							地球科学実験	2

[注1] 「基礎数学」、「解析Ⅰ」、「解析Ⅱ」及び「応用数学」は習熟度別にクラス分けして行う。

■専門教育科目

年次	1年次		2年次		3年次		4年次		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
生命環境科学基礎科目	生物資源利用学概論	②	環境エネルギー資源化学概論	②	物理化学Ⅰ	②	物理化学Ⅱ	②	
			物理化学Ⅰ演習	①	物理化学Ⅱ演習	①	生命環境科学ゼミナールⅠ	①	
			分析化学	②	機器分析化学	②	無機化学	②	
					環境分析化学	②	生命環境科学ゼミナールⅡ	①	
					機器分析化学実験	②	物理化学Ⅲ	②	
			有機化学Ⅰ	②	有機化学Ⅱ	②			
			環境科学Ⅰ	2	環境科学Ⅱ	2			
			生物化学Ⅰ	②	生物化学Ⅱ	②			
	物質系科目					エネルギー循環工学	2	電気化学	2
						固体物質工学	2	無機固体化学	2
					資源循環工学	2	環境浄化工学	2	
					化学工学Ⅰ	2	化学工学Ⅱ	2	
					環境物質工学実験	2	ナノマテリアル化学	2	
生命環境科学専門						高分子化学	2	コロイド化学	2
						応用微生物学	2		
						分子生物学	2	遺伝子工学	2
						生物有機化学	2	酵素化学	2
						栄養化学	2	食品学実験	2
					環境生命工学実験	2			
	食品基礎科目					微生物学	2	食品微生物学	2
						食品化学	2	食品分析学	2
						食品衛生学	2	毒性学	2
						技術英語	2	生産技術倫理	②
アドバンス科目		先端環境科学演習	②	先端環境科学実験Ⅰ	②	先端環境科学実験Ⅱ	②	環境衛生学	2
卒業研究								卒業研究	②

[注1] 「基礎数学」、「解析Ⅰ」、「解析Ⅱ」及び「応用数学」は習熟度別にクラス分けして講義を行う。

[注2] 1年間に履修登録できる単位数は、スキル教育科目のキャリア形成分野、教職科目、教養教育科目の自然科学分野、その他カリキュラム外の科目を除き最大49単位とする。ただし、教育的配慮から例外を認めることがある。

[注3] コア科目のうち、専門基礎科目の「科学実験入門」及び「化学実験」4単位を取得しなければ3年次の科目を履修することはできない。

[注4] 単位数が上段、下段に分かれている箇所は上段が生命環境科学基礎コース、下段が生命環境科学アドバンスコースである。

[注5] *印および(+)印の科目は、「食品衛生管理者及び食品衛生監視員養成課程」に関わる必修科目及び選択科目である。

[注6] 生命環境科学専門のうち、物質系科目または生命系科目より「環境物質工学実験」または「環境生命工学実験」を含む10単位以上を取得し、合計20単位以上を取得すること。

§ 3-4. 知能機械工学科

1 年次別授業科目表

福岡工業大学工学部履修要項

別表 年次別授業科目表

〔工学部〕各学科共通 | 教養教育及びスキル教育科目表

■教養教育科目

(科目名の右側の数字は単位数、○印は必修科目)

年次	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人文社会分野	日本国憲法 2	日常生活と法 2				比較文学 2		
	産業と法 2	コミュニケーション基礎 ②			認知心理学 2	現代倫理 2		
	九州学 2			日本近代思想史 2				
	大衆社会論 2	経済と社会 2	近代経済学 2					
	海外事情 2							
	日本事情Ⅰ 2	日本事情Ⅱ 2						
自然科学分野	生命と生態系 2	物質と化学 2	地球と環境 2	自然と科学 2				
保健体育分野	健康運動学 ②		健康科学 2	スポーツ科学 2				

■スキル教育科目

年次	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
外国語分野	英語初級Ⅰ 2	英語初級Ⅱ 2	英語初級Ⅲ 2	英語初級Ⅳ 2	ブラッシュアップイングリッシュⅠ 2	ブラッシュアップイングリッシュⅡ 2	ブラッシュアップイングリッシュⅢ 2	ブラッシュアップイングリッシュⅣ 2
	英語中級Ⅰ 2	英語中級Ⅱ 2	英語中級Ⅲ 2	英語中級Ⅳ 2				
	英語上級Ⅰ 2	英語上級Ⅱ 2	英語上級Ⅲ 2	英語上級Ⅳ 2				
	中国語Ⅰ 2	中国語Ⅱ 2			フランス語Ⅰ 2	フランス語Ⅱ 2		
	韓国語Ⅰ 2	韓国語Ⅱ 2			ドイツ語Ⅰ 2	ドイツ語Ⅱ 2		
	日本語Ⅰ 2	日本語Ⅱ 2						
保健体育分野							生涯スポーツ学 2	
情報工学分野	コンピュータリテラシー 2							
キャリア形成分野	キャリア形成 ②							
	日本語表現 2		就業実習 2		就業実習 2			

- [注1] 教養教育科目は人文社会分野から14単位以上、保健体育分野から2単位、合計16単位以上を取得しなければならない。なお、自然科学分野の科目は生命環境科学科では進級条件及び卒業要件の単位に含めない。
- [注2] スキル教育科目は外国語分野から8単位以上（うち英語8単位を含む）、キャリア形成分野から2単位以上を取得しなければならない。
- [注3] スキル教育科目のうち、情報工学分野の科目は生命環境科学科・電気工学科では必修科目、電子情報工学科・知能機械工学科では選択科目である。
- [注4] 教養教育科目は年度により前期と後期の科目が入り替って開講されることがある。
- [注5] 「日本事情Ⅰ」、「日本事情Ⅱ」、「日本語Ⅰ」及び「日本語Ⅱ」は留学生のみ受講できる。
- [注6] 「海外事情」の受講は、所定の海外研修への参加が必要である。
- [注7] 協定校（日本語センター）からの留学生は、
 ①初年次前期の「日本事情Ⅰ」及び「日本語Ⅰ」を履修し、7月実施の日本語能力試験（N2以上）を受験しなければならない。
 ②日本語能力試験（N2以上）に合格しなければ、「日本語Ⅰ」の単位を認定しない。
 ③日本語能力試験（N1）に合格しなければ、「日本事情Ⅰ」の単位を認定しない。
 ④日本語能力試験（N1）に合格しなければ、「卒業研究」を履修することができない。

福岡工業大学工学部履修要項

別表 年次別授業科目表

〔工学部〕知能機械工学科 | 専門基礎及び専門教育科目表

■専門基礎科目

(科目名の右側の数字は単位数、○印は必修科目、◎印はコア科目)

年次	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門基礎科目		解析Ⅰ及び演習 ④	解析Ⅱ ②	解析Ⅲ 2				
		線形代数Ⅰ ②	線形代数Ⅱ ②	確率と統計 ②				
		数学基礎演習 ②	微分方程式 2					
		物理学Ⅰ及び演習 ④	物理学Ⅱ 2					
		物理基礎演習 ③						
		機械物理学実験 ②						

■専門教育科目

年次	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
機械基礎学	ものづくり基礎実習 ④		機械力学Ⅰ ②	流体力学Ⅰ ②	流体力学Ⅱ ②	機械力学Ⅱ ②		
			材料力学Ⅰ ②	熱力学Ⅰ ②	熱力学Ⅱ ②	材料力学Ⅱ ②		
知能機械設計学	基礎製図Ⅰ ②	基礎製図Ⅱ ②	知能機械設計Ⅰ* ④		知能機械設計Ⅱ* ④			
			CADシステム* ②	CAD/CAMシステム* ②	デジタルエンジニアリング* ②			
知能生産工学		生産技術史 ②	機械材料 ②	機械工作法Ⅰ* ②	機械工作法Ⅱ 2			
			電気基礎学Ⅰ ②	電気基礎学Ⅱ ②	モータ制御工学 ②			
知能計測制御工学					計測工学 2			
					ロボット制御工学Ⅰ ②	ロボット制御工学Ⅱ 2		
共通科目			知能機械基礎実験Ⅰ ②	知能機械基礎実験Ⅱ ②	産業界基礎教育 2	知能機械創成実験 ②		
			知能機械制御言語及び演習* 2					
			技術者倫理 ②			英語プレゼンテーション ②		
卒業研究							卒業研究 ⑥	

- [注1] 1年間に履修登録できる単位数は、スキル教育科目の「就業実習」、教養教育科目の「海外事情」、教職科目、その他カリキュラム外の科目、留学生は外国人留学生科目を除き最大50単位とする。ただし、教育的配慮から例外を認めることがある。
- [注2] コア科目のうち、専門基礎科目の「数学基礎演習」及び「物理基礎演習」4単位を取得しなければ2年次の科目を履修することはできない。また、専門基礎科目の「解析Ⅰ及び演習」、「線形代数Ⅰ」、「物理学Ⅰ及び演習」及び「解析Ⅱ」12単位を取得しなければ3年次の科目を履修することはできない。
- [注3] 単位数が上段、下段に分かれている箇所は上段が知能機械設計コース、下段が知能機械創成コースである。
- [注4] *印の科目およびスキル科目の「コンピュータリテラシー」は授業にノートPCを使用する。

工学部教育方針
 § 3-1 電子情報工学科
 § 3-2 生命環境科学科
 § 3-3 知能機械工学科
 § 3-4 電気工学科

§ 3 工学部

§ 3-5. 電気工学科

1 年次別授業科目表

福岡工業大学工学部履修要項

別表 年次別授業科目表

〔工学部〕各学科共通 | 教養教育及びスキル教育科目表

■教養教育科目

(科目名の右側の数字は単位数、○印は必修科目)

年次	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人文社会分野	日本国憲法	2	日常生活と法	2			比較文学	2
	産業と法	2	コミュニケーション基礎	②			認知心理学	2
	九州学	2			日本近代思想史	2		
	大衆社会論	2	経済と社会	2	近代経済学	2		
	海外事情	2						
	日本事情Ⅰ	2	日本事情Ⅱ	2				
	自然科学分野	生命と生態系	2	物質と化学	2	地球と環境	2	自然と科学
保健体育分野	健康運動学	②			健康科学	2	スポーツ科学	2

■スキル教育科目

年次	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
外国語分野	英語初級Ⅰ	2	英語初級Ⅱ	2	英語初級Ⅲ	2	英語初級Ⅳ	2
	英語中級Ⅰ	2	英語中級Ⅱ	2	英語中級Ⅲ	2	英語中級Ⅳ	2
	英語上級Ⅰ	2	英語上級Ⅱ	2	英語上級Ⅲ	2	英語上級Ⅳ	2
	中国語Ⅰ	2	中国語Ⅱ	2			フランス語Ⅰ	2
	韓国語Ⅰ	2	韓国語Ⅱ	2			ドイツ語Ⅰ	2
	日本語Ⅰ	2	日本語Ⅱ	2				
スキル教育科目							生涯スポーツ学	2
	保健体育分野							
	情報工学分野	コンピュータリテラシー	2					
キャリア形成分野	キャリア形成	②						
	日本語表現	2			就業実習	2	就業実習	2

[注1] 教養教育科目は人文社会分野から14単位以上、保健体育分野から2単位、合計16単位以上を取得しなければならない。なお、自然科学分野の科目は生命環境科学科では進級条件及び卒業要件の単位に含めない。

[注2] スキル教育科目は外国語分野から8単位以上(うち英語8単位を含む)、キャリア形成分野から2単位以上を取得しなければならない。

[注3] スキル教育科目のうち、情報工学分野の科目は生命環境科学科・電気工学科では必修科目、電子情報工学科・知能機械工学科では選択科目である。

[注4] 教養教育科目は年度により前期と後期の科目が入り替って開講されることがある。

[注5] 「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱ」、「日本語Ⅲ」及び「日本語Ⅳ」は留学生のみ受講できる。

[注6] 「海外事情」の受講は、所定の海外研修への参加が必要である。

[注7] 協定校(日本語センター)からの留学生は、

①初年次前期の「日本語Ⅰ」及び「日本語Ⅱ」を履修し、7月実施の日本語能力試験(N2以上)を受験しなければならない。

②日本語能力試験(N2以上)に合格しなければ、「日本語Ⅰ」の単位を認定しない。

③日本語能力試験(N1)に合格しなければ、「日本語Ⅰ」の単位を認定しない。

④日本語能力試験(N1)に合格しなければ、「卒業研究」を履修することができない。

福岡工業大学工学部履修要項

別表 年次別授業科目表

〔工学部〕電気工学科 | 専門基礎及び専門教育科目表

■専門基礎科目

(科目名の右側の数字は単位数、○印は必修科目)

年次	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門基礎科目	電気基礎数学A	②	解析Ⅰ	②	解析Ⅱ	②	解析Ⅲ	②
	電気基礎数学B	②	線形代数Ⅰ	②	線形代数Ⅱ	2	微分方程式	2
	電気基礎物理学	②	物理学Ⅰ	②	物理学Ⅱ	②	物理学Ⅲ	2

■専門教育科目

年次	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
電気工学基礎	電気回路Ⅰ	②	電気回路Ⅱ	②	電気回路Ⅲ	②	電気回路Ⅳ	②
	電磁気学Ⅰ	②	電磁気学Ⅱ	②	電磁気学Ⅲ	②	電気計測	②
就業力育成科目			プレゼンテーション	2	技術者倫理	②		
情報処理科目		コンピュータリテラシー応用	②	プログラミング言語	②			
実験・実習科目	電気工学概論	②	電気工学フレッシユマン演習	②	エンジニアリングデザインⅠ	②	エンジニアリングデザインⅡ	4
					メカトロニクスⅠ	②	メカトロニクスⅡ	②
電気機器システム工学		電気機器Ⅰ	②	電気機器Ⅱ	②	電気機器Ⅲ	②	
電子回路・物性デバイス工学		電子回路Ⅰ	②	電子回路Ⅱ	②			
	基礎物質工学	②		半導体工学	②	集積回路	2	
システム制御工学				システム制御工学Ⅰ	②	システム制御工学Ⅱ	②	
電気エネルギーシステム工学			電気エネルギーシステム工学Ⅰ	②	電気エネルギーシステム工学Ⅱ	②	電気エネルギーシステム工学Ⅲ	2
					電気法規及び施設管理	2	電気応用	②
電験・総合科目				電験理論	2	電験電力	2	
						電験法規	2	
関連科目					機械工学概論	2	通信工学概論	2
							高電圧・プラズマ	2
							卒業研究	⑥

[注1] 1年間に履修登録できる単位数は、電験科目、スキル教育科目の「就業実習」、「日本語表現」、教養教育科目の「海外事情」、教職科目、その他カリキュラム外の科目を除き最大50単位とする。ただし、教育的配慮から例外を認めることがある。

[注2] 「電験理論」、「電験電力」、「電験機械」、及び「電験法規」の4科目の単位は、受講後、該当する国家試験に在学中に合格したのものについて、届け出により認定する。

[注3] 単位数が上段、下段に分かれている箇所は上段が電気総合エンジニアコース、下段が電気開発エンジニアコースである。

工学部教育方針
§ 3-1 電子情報工学科
§ 3-2 生命環境科学科
§ 3-3 知能機械工学科
§ 3-4 電気工学科